

Aモル#10

下地調整・仕上材
ユニレックス3現場混入タイプ

荷 姿

25kg紙袋

適 用 塗 厚

0.5~2mm

標準施工面積

21m²/袋(1mm)

特 長

1. クロス、ペンキ、吹付、塗装等、広範囲の化粧材を施工する際の
下地仕上げ材調整材として使用できます。
2. 工場にて粉末樹脂等、調合に必要なものを全てプレミックスし
てありますので混練りに際しては規定量の水道水を加えるだけ
で良く、エマルジョン等の混合ミスが無く調合が安定します。
3. 作業性が良く施工が容易です。
4. セメントノロのような小さな亀裂が発生しません。

製品仕様

適用下地	コンクリート、モルタル、PC板、ALCパネル
適用部位	内外壁、手摺天端、天井
適用化粧材	クロス、水性塗料、エマルジョン系仕上塗材

上表以外の適用につきましては、お問い合わせ下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、
実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準	
軟度変化 [%]	-5.1	-20~20	
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れない	
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれない	
付着強さ [N/mm ²]	標準養生	1.5	0.7以上
	低温養生	1.0	0.5以上
吸水量 [g]	1.2	2.0以下	
仕上材が複層 仕上塗材の場 合の耐久性 [N/mm ²]	外 観	割れ、膨れ及び剥がれなし	割れ、膨れ及び剥がれない
	付着強さ	1.2	0.7以上

試験方法:JIS A 6916²⁰¹⁴(C-1)

日本建築仕上材工業会登録

登録番号 0609003

放散等級
区分表示 F☆☆☆☆

問合せ先 <http://www.nsk-web.org/>

水濡れ厳禁

無石綿

業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工方法

1. 下地の確認

下地の突起部や硬化不良部、油脂分、不純物などはサンダーや高圧洗浄機等で取り除いて下さい。

下地との接着性を確保するため、カップリングや高圧洗浄により目荒しを行って下さい。

3mm以上の段差や目違い、ジャンカ、欠損部等は、施工する化粧材に合わせて予めポリマーセメントモルタルにて下地調整・補修を行って下さい。

2. 吸水調整

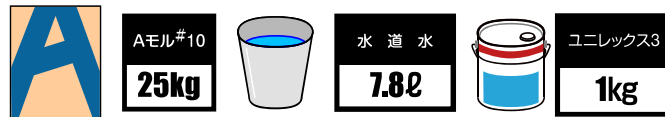
ユニレックス3(塗布型吸水調整材)を水道水にて3倍に希釈したものを左官刷毛等で施工面全面に塗布して吸水調整を行って下さい。

吸水の激しい下地(ALCパネル等)の場合は、ユニレックス3の5倍希釈液を2回塗布して吸水調整を行って下さい。

3. Aモル#10の混練

混練に際しては、Aモル#10(1袋:25kg)につき水を7.8ℓとユニレックス3を1kg加えてハンドミキサー等を使用してよく混練して下さい。

練り置きは40分以内とし、水を加えての練り返しは行わないで下さい。



4. Aモル#10の塗付け

下地にピンホールがある場合は、最初に捨塗りを行って下さい。

コテ圧を十分にかけながらこすり塗りをした後、所定の厚みまで平滑に塗付けて仕上げを行って下さい。

刷毛引き仕上げの場合は、ユニレックス3の10倍希釈液にて仕上げを行って下さい。

5. 養生

塗付け後、次工程までには7日以上養生期間をおいて下さい。

夏場の施工の際、Aモル#10施工翌日に散水養生を実施して下さい。

降雨(降雪)通風、日照など天候に留意し、必要ならシート養生等の保護養生を励行して下さい。

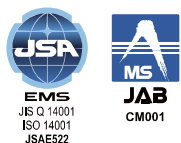
注意事項

*本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行って下さい。
4. Aモル#10の保管は、湿気・通風を避ける場所にして下さい。
5. 固まったものの使用は避けて下さい。
6. Aモル#10には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
7. Aモル#10硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。
8. Aモル#10の床面への施工は避けて下さい。



Aモル#10は安全に正しくお使い下さい。PL法に関しては袋の裏書をよくお読み下さい。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい